

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：都市地理学 ILAS Seminar :Urban Geography		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,KUKIMOTO MIKOTO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 18 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Mon.5
Classroom	Graduate School of Human and Environmental Studies Bldg. 437			Language of instruction	Japanese
Keyword	都市 / 地理学				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

テーマ：都市地理学を学ぶ

この授業では、都市地理学の基本的な視点や課題を理解し、都市を観察する方法を習得します。都市に暮らす人口が増加している傾向は、日本を含む世界の共通傾向となっています。この授業では、そもそも都市とはどのようなものか、どのような特徴を持つのか、近年の新たな動きや課題にはどのようなものがあるのか、基礎的な視点や理論、具体的な事例を学んでいきます。これを通じて、現代都市をめぐる可能性や課題について考察できるようになることを目的とします。

[Course objectives]

都市地理学の基本的な視点、都市空間や都市構造、都市の新たな動きや課題について理解し、文献や統計、現地の観察結果等について発表したりそれをもとに議論したりできるようになる。

[Course schedule and contents]

授業はゼミナール形式で進められます。都市地理学に関する文献資料の読み方、地図や統計、各種資料の判読・利用方法について学びます。各受講生は、文献資料のまとめ、地図、各種統計資料の判読を踏まえて、発表、討論を行います。また、具体的な都市の土地利用や現象理解のために、映像資料を用いたり、実際の都市（京阪神地域）を訪れて現地観察したり、資料館・博物館で地域資料を閲覧したりするフィールドワークを実施することがあります。フィールドワークを実施する場合、土日・祝日などに実施する可能性があります。

第1回 概要説明

第2回 文献学習、地図や統計の利用方法

第3～13回 受講生による発表と討論、現地観察

第14回 総括

第15回 フィードバック（フィードバック期間中に行う）

Continue to ILASセミナー：都市地理学(2)

ILASセミナー：都市地理学(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点100%。（授業への参加状況60% プレゼンテーション40%）
授業への参加状況は、課題・グループワーク・ディスカッションによって測る。

[Textbooks]

プリント等を配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

予習：授業中に提示された資料や都市に関する新聞記事や文献等をみておく。課題への応答や発表準備をする。

復習：学習した現象や理論、討論内容を自分なりに整理しておく。課題の作成をする。

[Other information (office hours, etc.)]

ゼミナール形式で行うことから、毎回出席できることを前提とします。自身の発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり発表を聞いて討論することがゼミナールの重要な過程となるからです。課題を進めるにあたって、グループワークやディスカッションが必要となります。現地観察を行う場合、現地への移動に係る交通費や関連施設入館料等は受講生の負担となります。実習中の事故や怪我に備えて、学生教育研究災害傷害保険に各自で加入しておくこと。

[Essential courses]